

1. 主題名 「 ルールを守る 」

2. 資料名 「 キャッチボール 」 〈出典 : かけがえのないきみだから〉

3. 主題構成表

<p>■内容項目 C-(10)</p> <p>遵法精神, 公德心</p>	<p>■価値の分析</p> <p>中学生になると, 体の不自由な人へのいたわりある行動や社会福祉施設などのボランティア活動に取り組むなどよりよい社会の実現を求める気持ちが強くなってくる。その反面, 公の場で意識するかしないかにかかわらず自己中心的な言動をとってしまうことも少なくない。そのため, 生徒一人一人に自分も社会の一員であるという自覚を深めるようにして, 互いに積極的に協力し合おうという意欲を育てるように工夫することが大切である。</p> <p>中学1年生の生活は今後の中学校生活, さらにその先に大きく影響してくる。だからこそ, 自分のことよりも周りのことを優先できる心をもって生活していけるよう, 今の自分のマナーについて見つめさせたい。</p>	<p>■資料の分析</p> <p>野球の中体連の試合前に, 周りの迷惑をかえりみずキャッチボールをしていた主人公だったが, 自分がけがをして病院に運ばれる際, 同じように周りのことを考えずに駐車してあったワゴン車に道を阻まれ, 自分も同じことをしていたと気づく。そういった主人公の姿を通して, 公德心をもつことの大切さを自覚させる資料である。</p> <p>この資料を通して, 自分だけがマナーを守ってもより良い社会は作ることができないことに気づかせ, 1人1人が周りに配慮してマナーを守ることがより良い社会を作ることにつながることを押さえたい。だからこそ, 全体のためにまずは自分から周りに配慮し, 行動していくという態度を育てていきたい。</p>
<p>■内容項目からみた生徒の実態(意識)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊研修を通して, クラス・学年で決めた約束を守ろうという意識が強くなってきた。 ・周りの人のことや隣のクラスのことにも気を配ることができるようになってきた。 ・一方で, 自分の意思をもつことができず, なんとなく周りに合わせてしまったり, 流されてしまったりする。 ・自分くらいいいやと勝手な判断をしてしまう場面が見られる。 <p>■要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校生活にも慣れてきて, 自分たちの手で生活をよりよくしていこうという雰囲気ができてきた。 ・善悪の判断が弱く, 自分が楽しいと思う方に流されてしまっている。 ・自分の行動は全体には影響しないという思いがある。 		
<p>■ねらい。</p> <p>マナーを守ることが, 自分たちや周りの人の生活をより良くするために必要だと気づき, 自分から周りに配慮していこうとする態度を育てる。</p>		
<p>■展開の構想</p> <p>(導入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の価値につながるよう方向付けをする。 <p>(前段)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習したい気持ちとやっではないけないという気持ちで揺れる明夫の様子に気付かせる。 ・反省している明夫の気持ちや自分も同じことをしていたという気持ちを理解し, 周りに配慮することの必要性に気づかせたい。 <p>(後段)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の行動を素直に振り返り, 1人1人が周りのことを考え, マナーを守ること, より良い社会を作ることができることに気づかせる。 <p>(終末)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周りへの配慮が全体に与える影響についての説話をすることで, 本時の価値を深める。 	<p>■基本発問(◎中心発問)</p> <p>(導入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大会前に決められた練習時間をオーバーして練習を続けるかどうか, 自分だったらどうする。 <p>(前段)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○通路で練習を始めた時の明夫はどんな気持ちだろうか。 ○注意したおぼさんに怒鳴り返したときの明夫はどんな気持ちだろうか。 ◎「はっ」とした時の明夫はどんな気持ちだろうか。 <p>(後段)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分自身が周りの事を考えて行動できたこと, できなかったことはないかを書こう。 <p>(終末)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○乗鞍・高山研修での活動を踏まえた教師の説話をする。 	

4. 本時の展開

	基本発問と予想される生徒の反応	・留意点 ●双方向 ◆人権教育の観点
導入	◇自分だったら大会前に決められた練習時間をオーバーして練習を続けるかどうか。	・具体的な場面を設定し、自分ならどうするのか考える。
展開前段	<p>◇資料を提示し、範読をする。</p> <p>◇感想を交流する。(～さんから発言)</p> <p>○「どうする・・・」と顔を見合わせた時の明夫はどんな気持ちだろうか。(複数人指名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試合前だし、空いているからいいかな。 ・練習する場所がないから仕方がないよな。 ・ダメかな。でも誰かがやり始めたらやろう。 ・やっちはいけないとは分かっているけどどうしよう。 <p>○おばさんに注意され、怒鳴り返した時の明夫はどんな気持ちだろうか。(1人ずつ指名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所がないんだから仕方がないだろ。 ・何で怒られないといけないんだ。 ・ダメなことは分かっているけど、しょうがない。 ・注意してくれたのに言い過ぎたかな。 ・私も明夫と同じように、練習を続けてしまうな。 ・自分だったら注意されたらやめると思う。 <p>◎「はっ」としたとあるが、このとき明夫はどんな気持ちにだろうか。(1人ずつ指名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しまった。バチが当たったな。 ・最初からやらなければよかった。 ・自分もこの運転手と同じことをしていたんだな。 ・ルールを破っていることが同じだと思う。 ・周りの事を考えずに行動している部分が同じだと思う。 ・自己中心的な考えになっているところが同じだと思う。 ・ルールとして決められてなくても、周りの事ことを考えて行動するべきだ。 ・相手の立場になって物事を考えることが必要だと思う。 	<p>●「～さんから」発言を使い、生徒の多様な意見を引き出したり、生徒同士で深めたりすることで、その後の発問につなげていく。(研究I)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見の違いに気付かせ、揺れ動く明夫の気持ちに着目できるようにする。また、導入の部分と関連づけることで、明夫の気持ちに共感できるようにする。 ・練習場所がないから仕方がないという自己中心的な明夫の気持ちに触れることで、マナーを守れていないことを正当化しようとしている様子を押し返す。 ・日常生活の中で同じような場面がないか問いかけ、マナーについて考えることができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【深めの発問】 ★明夫は運転手とどんなところが同じだったと考えているのか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・周りの事を考えていなかったところが運転手と同じだったことに気付かせることで、周りに配慮することの必要さを押し返す。 ・ルールを守るという言葉が出てきた時に、「これはルールとして決まっているのか」と問うことで、ルールとして決まっていなくても周りに配慮する心は大切だということに気付かせる。 <p>◆自分から周りに配慮して行動することが大切だと考えられるようにする。(自己啓発力)</p>
展開後段	<p>◇自分の生活を振り返る。(道徳ノートに記入)</p> <p>○自分自身が周りの事を考えて行動できたこと、できなかったことはないかを書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下校途中に自転車の乗り方のルールを破ってしまった。そのことで一緒に帰っている仲間を危険な目に遭わせてしまった。今後は、周りのことを考えて行動していきたい。 ・早帰りのときの時間をしっかりと守ることができた。周りの仲間も守っているから意識することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導で、生徒の記入した内容を把握し、その後の指名につなげていく。 ・資料の価値に沿って、これまでの自分の生活を具体的に振り返り、マナーを守った(守れなかった)自分について見つめ直すことができている生徒を取り上げ、価値づける。
終末	◇乗鞍・高山研修を振り返った教師の説話をします。	・周りへの配慮が全体に与える影響についての説話をすることで、本時の価値を深める。

5. 道徳の時間(本時)と他の教育活動との関連

<場の内容・ねらい>

乗鞍・高山研修

施設での過ごし方を考えることを通して同じ部屋の仲間や泊まっている一般の方への気配りの大切さを学び、周りの事を考えて行動することができる。

道徳の時間(本時)

「キャッチボール」
内容項目 C- (10)
遵法精神・公德心

マナーを守ることが、自分たちや周りの人の生活をより良くするために必要だと気づき、自分から周りに配慮していこうとする態度を育てる。

セレクトプロジェクト(体育大会団決め)

自分たちは他の学年から選ばれるような状態になっているのかを考えることを通して、仲間を大切に、相手の立場になって考えようとする意識を高める。

体育大会練習・体育大会本番

「競技で相手に勝つ」ということを第一に考えるのではなく、お互いに支え合うことを大切にしていきたい。競技を通して勝つ喜びだけでなく、仲間とやり抜くことができるようにする。

日常の活動

朝の会

学級委員が設定する学級の目標や班会議での目標をもち、達成しようとする意識をもたせる。

朝の会

係活動は何のために行うのかを考えることで、学級の一員としての意識を高め、自分の行動が学級のためになっていることが認識できるようにする。

授業

仲間との教え合いの活動を通して、仲間に頼ることや、頼られることで、集団の一員だということを自覚できるようにする。

「自分さえ分かればいい」という考えをなくし、全体で高まるという意識をもたせる。

掃除

自分や仲間の活動で掃除場所がきれいになる達成感を味わえるよう、心を込めて隅々まで掃除ができるように指導する。

合唱

自ら大きな歌声で歌うことを通して、学級内で自己を解放したり、仲間と合唱作りあげる楽しさを実感したりできるようにする。

帰りの会

朝の会で立てた目標の振り返りを学級や班で行い、頑張れたことを認め合う。

<生徒の意識>

- ・1日目は部屋でうるさくしてしまった。自分たちのことだけでなく、周りの人がどう感じるかまで考えて行動していきたい。
- ・研修で学んだことを日常生活に生かしていきたい。

- ・自分自身もこれまでに周りの事を考えることができていなかった経験があるな。これからは、自分のことだけでなく、相手の立場に立って行動していきたい。
- ・自分から進んで周りのために行動していきたい。

- ・先輩から選んでもらうために自分たちの姿を高めていかなければいけない。特に、授業や係活動などで仲間と関わることを大切にしていきたい。
- ・先輩の立場になって自分たちの姿を振り返ることが必要だ。

- ・練習を始めたばかりの時はみんな「勝ちたい」という思いが強く「ちゃんとやれよ」という声が多かったがだんだんと「ドンマイ」や「次頑張ろう」という仲間を支える声が増えてきた。この関わりを福祉・夢コンサートにつなげていきたい。

<指導・援助>

- ・自分たちの生活を振り返り、問題はなかったかを振り返らせる。
- ・研修で得た力を明確にし、それを学校でどのようにして生かしていくのかを考えていく。

- ・主人公の弱さに共感させることで、自分自身の姿と置き換えて考えることができるようにする。
- ・自分の生活を振り返り、周りに配慮して行動できた(できなかった)自分について見つめ直し、今後の自分の在り方について考えることができるようにする。

- ・普段の生活の中での自分たちの良さは何なのかを考えさせたり、「どんなクラスと組みたいのか」と問いかけたりすることで、自分たちの生活を客観的に振り返ることができるようにする。

- ・学級目標をもとにした体育大会の学級スローガンを考え、仲間との支え合いを大切にできるようにする。
- ・体育大会での成果を共有することで、仲間との関わりが深まったことを実感させ、次の行事への意欲を生み出す。